

冬季展「記録された加越能の災異」

平成17年1月11日(火)～3月27日(日)

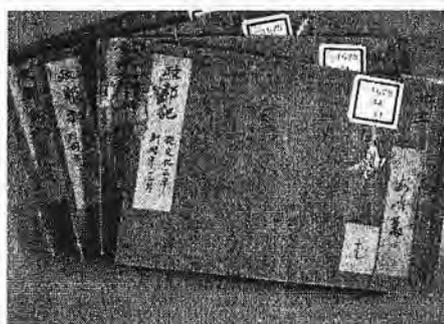
玉川図書館近世史料館一階展示室

災異とは、非常の災害、天災地変、天変地異のことです。地震や彗星など長期の周期で起こる事象や、当時の人には異変と思われた事象の記録は、現在では貴重な資料です。

災異の古文書・絵図等の展示により、現在の事象記録や、受け継いだ過去の事象記録の活用・保存について考える機会になれば幸いです。

主な展示品

政鄰記(16.28-11)



津田政隣の編著。加賀藩の史実を年月に係けて記録したものである。原本31冊、その内第1冊から第11冊までは、天文7年から安永7年までの記事で、巻頭に源政本の序あり、内題に記録とあるのは、政隣記録を略したものと思われる。第12冊から第31冊までは、安永8年から文化11年8月までの記事で、内題を耳目甄録とし、その第12冊には『是迄題目政鄰記録之処改之。』とし、また安永8年源政鄰の序がある。以上合わせて、外題はいづれも政鄰記である。(日置謙著 改訂増補加能郷土辞彙より)

政鄰記は、NHK学園通信講座 古文書講座のテキストとしても使用され、記事の正確性は高いと評価されています。

魚津御用言上留他(16.63-46)



成瀬正居が、魚津に在任中近習衆中へ宛てた言上書の留書。内容年代は、安政4年(1857)～文久3年(1863)

魚津在住言上抄 (16.67-24)



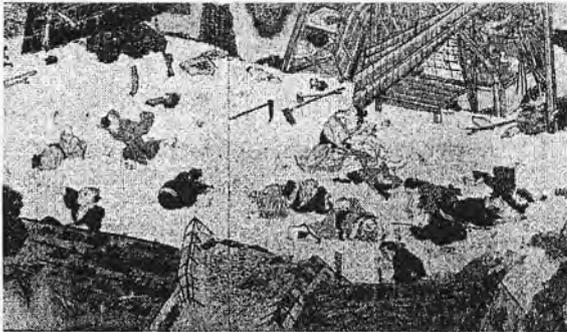
明治初期に前田家編輯方が、安政5年(1858)の地震による被害の状況等を、当時魚津に在住していた成瀬主税の言上留等より抄録してまとめたもの。

茶臼山々崩図 大1041



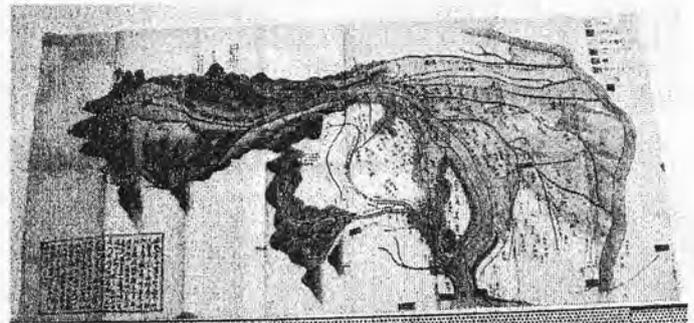
主な展示リスト

茶臼山々崩図 元禄12年12月23日申下刻崩出	大1041
越中泥満水之図	096.0-272
新川郡常願寺川筋御普請所分間絵図	16.65-244
安政大地震ニテ常願寺川流域欠壊之図	16.67-26
安政大地震立山廻り崩山絵図	大1184
越中常願寺川筋被害図(火災地震記録4種折込図)	16.67-12
嘉永6年相模国大地震	096.5-211
金沢焼失図	16.67-7
蓮昌寺焼失図	16.67-9
輪島并近浦津波一件	16.67-21
尾星実測覚	095.31-15
尾星実測附図	095.31-16
天保14年彗星出現図記	095.31-20
魚津蜃気楼之図	16.87-18
加越能三州郡分略絵図	大1189
東海道地震津波末代嘯の種(絵入)	21.3-28
異国船来航の図	16.81-765
亜船風説聞書	16.56-23
難福の図	721.8-44



難福図・地震図

721.8-44



安政大地震ニテ常願寺川流域欠壊之図 16.67-26